

中学生が将来のために 「金融」について考える

(財務部)



金融知識の説明

金融サービス利用者の安定的な資産形成推進のためには、各個人の金融リテラシー向上を図っていく必要があり、金融庁が8月に公表した「金融行政のこれまでの実践と今後の方針」においては、学校教育と連携した学生の金融リテラシー向上を重点分野の一つとして積極的に推進していくとしております。

当該方針に基づき、財務部金融監督課は、9月、沖縄アミークスインター・ナショナル中学校2年生を対象に、「お金と消費生活入門編」と題して、基本的な金融知識を理解してもらう講座を開催しました。

講座では家計管理の重要性やクレジットカードの仕組みのほか、若者に多いトラブル事例としてオンラインゲームによる高額請求について注意喚起を行いました。また、将来成人年齢が18歳に引き下げられることによる契約についての注意点などを説明しました。

生徒達からは、「将来のためにお金
を大切にする必要がある」、「お金に
ついてこれからもっと勉強したい」など
の感想がありました。講座には保
護者もご参加いただき、「親子で講
座を受けたことで講座内容について

お互いに話をする機会が持てた、「もつと若いうちから金融経済教育は必要である」といった意見が寄せられました。

当部は、今後も、若年層の金融リテラシー向上のため、積極的に講師を派遣します。また、財政・経済・国有財産に関する要望に応じて皆様にお役立ていただける情報をお届けいたします。左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

出前講座のご案内